

# 真菌医学研究センター セミナー

令和2年12月1日(火) 16:00~17:00  
オンライン開催(Microsoft Teams)

## 腸内細菌と栄養シグナルによる 腸管免疫系の制御

慶應義塾大学薬学部

教授 長谷 耕二

近年の研究から、腸内微生物の定着が大腸免疫系の成立と恒常性維持に関わることが明らかとなってきた。無菌マウスでは、粘膜面の防御を担うTh17細胞や過度の免疫応答を抑制するTreg細胞の数が著しく減少するが、これら一連の免疫不全は、腸内細菌叢を移植することで正常化する。一方、小腸の免疫系は無菌状態でもあまり大きな変化が生じないことから、大腸とは異なる機構によって制御されていることが示唆される。我々はパイエル板のリンパ球の維持において、食事由来の栄養シグナルが必須の役割を果たすことを示してきた。本セミナーでは、小腸および大腸免疫系の構築に決定的な役割を果たす環境因子について紹介したい。

主催：千葉大学 真菌医学研究センター

参加希望の方は、お名前とご所属を添えて下記メールアドレスあてにお申し込みください。  
【お申込み・お問合せ先】千葉大学 真菌医学研究センター 事務室  
E-mail: vab5903@office.chiba-u.jp URL: <http://www.pf.chiba-u.ac.jp/>  
Tel: 043-226-2495